

カシオのマネジメント



カシオは、社会やステークホルダーから信頼される企業を目指し、CSRの実効性をより高めるために、コーポレート・ガバナンスの充実をはじめ、さまざまな取り組みを行っています。

▶ CSR推進体制

ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、社会からの要請を基に取り組むべき課題を設定しています。



▶ 社会活動 行動目標・実績

年度ごとに課題を抽出して、推進計画を立案し、実行することで、CSRを確実に遂行しています。



▶ コーポレート・ガバナンス

さまざまな取り組みを通して、経営の健全性と透明性を高める努力をしています。



▶ コンプライアンス&リスクマネジメント

倫理行動規範、リスクマネジメント、公益通報ホットラインを三位一体としてコンプライアンスの徹底を図っています。



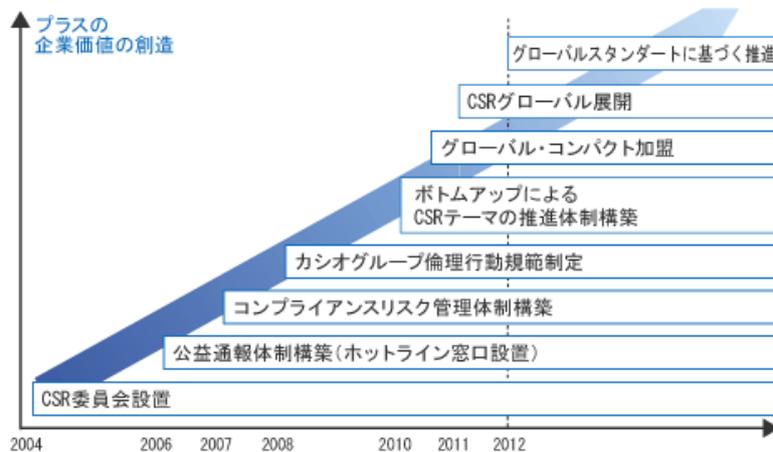
CSR推進体制

社会的責任の国際規格であるISO26000を手引きとし、ステークホルダーとのダイアログを通じて社会からの要請を基に取り組むべき課題を設定し、解決に向けてのマネジメントサイクルを推進しています。

CSR推進の経緯

カシオは2004年にCSR推進室を設置して以来、取り組むべきテーマと影響を及ぼす対象範囲を拡大しながらCSRを推進しています。初期の段階では、コンプライアンス・リスクによる企業価値の毀損を抑制することに力を置いていましたが、現在ではグローバルな視点でプラスの企業価値を創造することに主眼をおいて取り組んでいます。2011年度は、全世界のグループ企業を対象にCSRをグローバルに推進するため、CSR推進の責任者・担当者を設置するとともに、ISO26000に定める中核主題に基づき各社の取り組み状況を評価・分析しました。2012年度からは、ISO26000現状分析に基づく優先対応課題に関するPDCAマネジメントを中心に活動していきます。

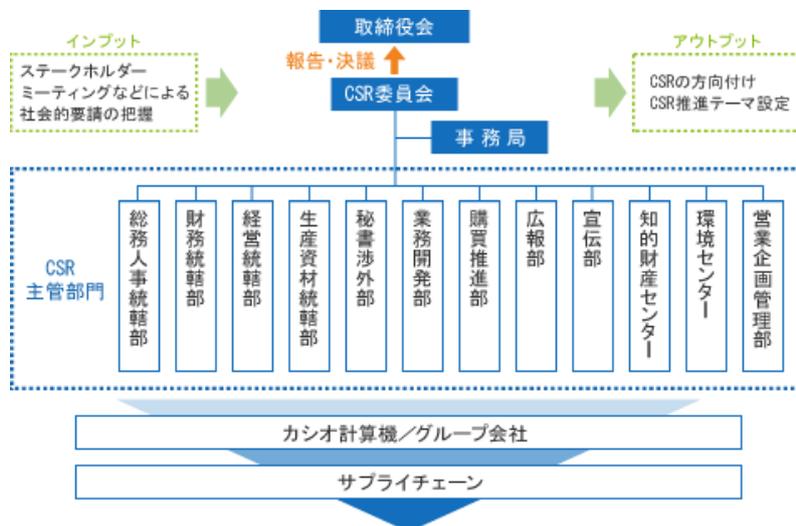
CSRの取組みの進化



CSR委員会

カシオでは取締役会の下部に、CSR担当取締役を委員長とするCSR委員会を設置しており、CSRを推進する上での中核として位置付けています。CSR委員会の運営はマネジメントサイクルに基づいており、期初にステークホルダーダイアログを開催するとともに、年度ごとに取り組むべき最重要テーマを見直し設定しています。これら継続または新規設定した各テーマについて、推進する主管部門がテーマ本来のあるべき姿と当該年度の計画を策定し、プログラムとして推進。また、期末には年度の実績を振り返り、自己評価するとともに、内部監査による客観的な評価を踏まえ、期末時点での課題を抽出し、次期のテーマ設定と計画策定に結び付けています。

CSR委員会体制



2011年度は、CSR関連の8テーマ、及びコンプライアンス関連の1テーマで、合計9テーマ（前期からの継続テーマを含む）を登録し、推進しました。個別のテーマと推進状況は以下の通りです。

<2011年度の個別のテーマと推進状況>

No.	テーマ	2011年度実績	状況	2012年度計画
1	グループCSR推進	体制整備とCSR課題の棚卸実施	実施済み	—
2	東日本大震災 被災地支援	ボランティア実施派遣	実施済み	—
3	環境パフォーマンスの向上	優先度・難易度の調査実施	継続課題	取得項目の決定
4	サプライチェーンのCSR調達推進	取引先の立ち入り調査実施	継続課題	サプライヤーミーティング実施
5	危機管理の強化	震災（東京直下型）対策の実施策定	実施済み	—
6	女性の登用と活躍の促進	女性社員向けセミナー実施	継続課題	ガイドブック作成
7	ダイバーシティの向上	外国籍人員の採用等	実施済み	—
8	ブランド価値の向上	欧米国大手流通との協業	中止	—
9	コンプライアンスリスク対策	情報セキュリティ規程改定	継続課題	ログ運用体制の確立

また上記の継続テーマとは別に後述のステークホルダーダイアログを踏まえ、現状の課題を領域に区分し、それぞれワーキンググループによって、問題点と対策を審議し、具体的なアクションプランを設定し、2012年度の新規テーマとして推進します。

ステークホルダーダイアログ

2011年度は、テーマ設定の前に I I H O E 「人と組織と地球のための国際研究所」代表の川北秀人氏をお迎えしCSR委員会メンバーとミーティングを行い、ISO26000の発行や東日本大震災を踏まえ、各主管部門が新規に取り組むテーマにいかに関与すべきか議論を行いました。また、川北氏のご指導のもと、各主管部門メンバーが他社のCSRレポートの読み比べを行なう「CSRベンチマーキング」を実施し、目指すべきCSRの方向性や情報発信のあり方についてグループ討議を行いました。



ステークホルダーダイアログ

2012年度は、期初のCSR委員会において上記ISO26000に基づく現状分析結果から抽出された優先して取り組むべき課題の中から特に「人権の尊重」にハイライトを当て、東京経済大学客員教授の寺中誠氏より「人権について」と題してご講話をいただきました。その後、一般財団法人CSOネットワーク 事務局長・理事である黒田かをり氏にもご参加いただいて、CSR委員会メンバーと「人権」という課題についてダイアログを行いました。

※ダイアログの詳細については、以下をご参照ください。

[ステークホルダーダイアログ](#)